

指定管理者の管理運営に関する評価シート

（評価対象期間：平成31年4月～令和5年3月）

施設名	池田市立養護老人ホーム白寿荘
市担当課	福祉部 高齢・福祉総務課（754-6336）

（1）指定管理者

団体名	社会福祉法人のぞみ
指定期間	平成31年4月～令和5年3月
管理体制	施設長（常勤） 1名 事務職員（常勤） 1名 生活相談員 （常勤） 1名 支援員（常勤） 3名 看護師（常勤） 1名 栄養士（常勤） 1名 夜間常直職員（非常勤） 2名 医師（嘱託医） 1名

（2）事業内容

管理業務	養護老人ホーム白寿荘の管理・運営。
運営業務	入所者の養護、指導及び訓練その他の援助。
自主事業	/
その他	/

担当課の評価 （A、B、C）	A	措置入所者のニーズに応じた支援を行い、生活環境の整備を実施することができた。また、令和5年3月末日の白寿荘廃止に伴い、入所者の状況に応じた適切な転所事務及び施設管理を行うことができた。
-------------------	---	--

（3）利用状況

施設	入所者：0名（令和5年3月31日現在） 【別添養護老人ホーム年度別入所者人数推移参照】
事業	別添年度別事業報告書参照

担当課の評価 （A、B、C）	A	入所者の人数は市から措置人数を処遇するものである。令和4年度中の延べ人数は10名であり、令和5年3月末日をもって養護老人ホーム白寿荘は廃止となるため、前述の利用者の状況を鑑みて転所及び退所を適切に実施できた。
-------------------	---	--

(4) 市民満足度

苦情等の状況	施設での苦情解決委員会まで持ち込まれた事例はなし。 市では特になし。
利用者アンケートの実施状況	施設ではアンケートとしては実施していないが毎月さわやか会（老人会）で広く苦情や要望等を聞く機会を設けているほか、常時、意見箱を設置している。 また、施設長との個人面談（満足度調査）を行い上記の機会では吸収できない事項を聴取している。市では実施していない。
利用者アンケートの結果	施設では意見箱の投書については、さわやか会の席上で公表し、回答している。

担当課の評価 (A、B、C)	A	市に対して大きな苦情等はなく、また、月次の会合や意見箱で利用者の要望を聴取し、施設の満足度の向上に繋ぐことができている。
-------------------	---	--

(5) 収支状況

(別紙年度別決算書等参照)

担当課の評価 (A、B、C)	A	収支については、市が措置した延べ人数及び期間に応じて事業費等が変わってくる。また、令和4年度末に廃止のため、施設の備品等についても一定、抑えられており、収支のバランスが適切に実施できている。
-------------------	---	---

(6) その他

情報公開	該当事例無し
個人情報保護	管理運営業務の実施に伴い、知り得た個人情報の保護及び秘密漏洩防止については、協定書の「個人情報取り扱い特記事項」に基づき、厳守した。あわせて「社会福祉法人のぞみ個人情報保護規定、関連諸規則」も厳守した。
防災対策等 緊急時への対応	「白寿荘非常事態発生時の対応マニュアル」（施設内事故、行方不明者発生、不審者の侵入等、台風・大地震、火災、光化学スモッグ）を作成。また、石橋地域での防災訓練への参加や警察署員による防犯講習会を開催した。
その他	

担当課の評価 (A、B、C)	A	協定書の個人情報取り扱い特記事項及び指定管理者における関係諸規則に基づき管理されており、漏洩の案件もなく、適切に実施されている。また、防災対策及び防犯対策についても適切に実施されている。
-------------------	---	---

総合評価

指定管理者の自己評価
 (優・良・可・不
 可)

優

コメント

老人福祉法ならびに養護老人ホームの設備及び運営に関する基準の主旨に則って、年次ごと事業報告書の通り、自主性の促進、健康増進・体力向上、教養・娯楽の向上、衛生管理意識の普及向上、地域社会等・家族との交流、サービス面の向上に取り組み、毎年数多くの成果をあげることができた。入所者からも、一定の評価を得た、と考えられる。

担当課の総合評価
 (優・良・可・不
 可)

優

コメント

入所者の高齢化に伴い、介護や医療のニーズを汲みとり、その中で適切な対応を実施し、入所者の生活改善に寄与していた。令和5年3月末日をもって養護老人ホームが廃止となるまでに、入所者の先の居住地の調整も行い、全入所者を希望どおりの施設へ転所させ、養護老人ホームの役割を果たした。

評価委員会の評価
 (優・良・可・不
 可)

優

コメント

- ・施設の設置目的に沿った適切な管理ができていたと考える。
- ・令和4年度末で市立の養護老人ホームは閉館したとのことだが、今後、高齢化が進む中、養護老人ホームも含めた施設のニーズは高まると考えられるため、ニーズに合わせた対応を行ってほしい。

令和元年度

事業報告書

資金収支計算書

自：令和元年4月1日

至：令和2年3月31日

養護老人ホーム 白寿荘
(社会福祉法人 のぞみ)

<p>1. 当事業部のミッション</p>	
<ul style="list-style-type: none"> - 指定管理者として池田市の信任に応えるべく、ご利用者が安心して暮らせる地域の施設を目指す。 - 入所者の基本的人権を尊重し、入所者が自立した日常生活を営むことが出来るよう、各人の有する能力に応じた必要なサービスが提供できるよう努める。 - 介護ニーズに対応する為、介護保険サービスを積極的に利用すると共に、個々のご利用者の状況に応じて適切なサービスを提供する。 - 入所者に日常生活の「安心と安全とやすらぎ」を提供する為、施設機能の維持管理に努める。 	
<p>2. 平成31年度 事業計画実行状況の概要</p>	<p>3. 令和2年度 事業計画の概要</p>
<p>(昨年末に作成した事業計画の実行状況について、短い文章または箇条書きで、簡潔に解説してください)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ADLの維持強化について外出の機会を増。具体的には散歩等の軽めの外出の頻度を増やし、閉じこもり防止のきっかけ作りを図った。又個々のニーズに合わせた外出支援等も引き続き行っている。 ・コストパフォーマンスについては費用を削減しながらも日常の中での生活支援を中心とし、一緒に居室の掃除をしたり、一緒に散歩をしたりなど大々的な規模から中小規模の関りを増やしていく事を意識し、入所者と共に作り上げる行事計画などを行った。結果としても予算の削減につながっている。 ・池田市とは措置入所のみではなく緊急ショートについても協力の要請を受け、来年度も受け入れを行ってきた。 <p>引き続き措置入所、ショートと池田市と連携を取り、池田市と更なる信頼関係を構築していきたい。</p>	<p>運営面では、昨年度に引き続きDLの維持強化（閉じこもりの防止）に力を入れていきたい。</p> <p>定期的な体力測定の評価と分析、また日々の関わりの中でのADL維持活動と関連付け、入所者のモチベーション向上を図る。また介護保険サービスを最大限に活用し、外部サービスをフル活用した機能維持を意図する。</p> <p>経営面では、昨年大きな行事の見直しを行っている為、入所者の満足度が低下しない事を意識しながらも引き続き無駄な部分は削減できるよう意識していく。また入所者に影響が出ない部分についてはシビアなコスト意識を徹底していく。</p> <p>渉外面では、困難なケースが増えている中で池田市福祉部としっかりと連携・情報共有を図り、一体化した対応が行えるようにする。特にショートの方針については白寿荘の状況を把握している担当部署との連携が必要になってくる為、今まで以上に慎重かつ丁寧に状況を把握し、連携していく事に注意する。</p>

平成31年度事業計画実行状況 および令和2年度事業計画の詳細

A	B. 白寿荘事業部 平成31年度末目標	C. 平成31年度 事業内容 およびその担当者・予算・実現期限	D. 平成31年度末の目標達成状況および未達の場合の理由評価	E. 白寿荘事業部 令和2年度末目標	F. 令和2年度事業内容 およびその担当者・予算・実現期限	G. 備考
事業所の効率効果的で安定した経営・運営	指定管理者として池田市と連携を図り、利用者が安心した生活を継続できるよう自立支援に重きを置いた生活支援を行う。	<p>1. 池田市との連携 福利部終務課との連携をはじめ、地域包括ケアシステム実現に向けた地域の拠点施設として研修に参加。 地域の主要機関及び地域の民生委員等との関係性を強化 担当者：事業部長、生活相談員</p> <p>2. 緊急ショートを受け入れ 池田市からの緊急受け入れに対して適切に対応。行政運営の緊急避難の場として機能していた。備品は追加購入済み。 担当者：事業部長、生活相談員</p>	<p>1. 達成</p> <p>2. 達成 ショート受け入れ 4件 4名 のべ合計114日間</p>	<p>1. 現状維持</p> <p>2. 都度適切に対応 受け入れのライン等について担当窓口と協議を行い、スムーズな受け入れが可能なるよう努める</p>	<p>1. 池田市との連携を強化し、白寿荘としての機能を最大限活かして引き続き、池田市及び地域に貢献していく。 「我が事・まる事」の研修を通じ地域包括システムを構成する 拠点として地域との連携強化を図っていく。 担当者：事業部長、生活相談員</p> <p>2. 緊急ショートを受け入れ需要が今まで以上に増加 宿直体制下では受け入れが難しいケースも相談される事が増えている為、自費サービス等の活用の検討も視野に入れ、白寿荘として最大限行政の要望に応える事が出来る体制づくりについて行政と相談していく 担当者：事業部長、生活相談員、支役員 実現期限：令和元年度予算、決裁後1カ月以内に購入</p>	
利用者支援	養護老人ホームにおいては身元引受人の不在や経済面の影響が将来を左右する大きな要因となる為、将来に向けて利用者の気	<p>1. 養護分科会への参加 昨年度同様に養護分科会に所属し最新の情報を取得すると共に、他市養護老人ホームとの横のつながりを強化、各市を超えた協力関係の形成を行う。 担当者：事業部長、生活相談員、支役員等</p>	<p>1. 達成 養護分科会への積極的な参加 及び情報共有、公設民営施設の現状把握（運営の厳しさ・措置控え）等の把握</p>	<p>1. 運営手法の把握 当施設は公設公営の運営委託社会福祉法人のそみの形態ではあるが、大阪府下の他市においては民設民営、公設民営等が主流である。 池田市においても他市同様の流れになる可能性が考えられる。 如何なる状況にも対応できるよう知識を深め準備を整えておく。</p>	<p>1. 引き続き養護分科会への積極的な参加を継続し、最新情報を収集すると共に、将来に向けて公設公営の形態からの変化にも対応できるよう他市の運営状況等を参考に知識を深めていく。 担当者：事業部長、生活相談員</p>	<p>1. 新規入所者がスムーズに養護老人ホームでの生活を安定できるように将来に向けた計画的な収支バランスを一緒に考えていく。</p>

	持ちを確認しながら、必要時には助言を行い、生活改善に取り組む	都度行っていく。又、収支のバランス等が崩れているケースにおいては生活指導等を行い、近い将来起こる状況を十分に説明して一緒に収支バランスを考えていく。 2. 身元引受人不在 成年後見人制度を活用し、必要になった場面で申請手続きを行い入所者の負担が最低限となるよう配慮する。 担当者：生活相談員 (※状況により行政との連携)	2. 達成 必要な場面で成年後見の手続きが行えるよう、本人申し立て及び市長申し立てどちらで行くか行政側と都度協議を行っている。	2. 昨年同様、毎年行われる入所継続審査等で将来的に後見人が必要となる方々を行政側と共有する。	2. 後見人制度の情報を都度収集すると共に、行政との連携を強化していく。又、市民後見人の育成に協力し、実習施設としての場を提供していく。 担当者：生活相談員
	介護ニーズに対応する為、介護保険サービスを積極的に利用すると共に個々のご利用者の状況に応じて適切なサービスを提供する。	1. 各々の機能に応じた計画の作成 各々の能力を把握した上でのプラン作成実施。 一部個別支援を見直す必要が居るが入所者と相談しながら個別の計画を再度作成していく。 担当者：生活相談員 2. 介護ニーズへの対応 法人下の介護事業所と連携しながら最大限白寿荘に潜在して頂けるよう支援。 担当者：生活相談員、支援員	1. 達成 来年度も継続予定	1. 項目の内容改善・見直し及び評価機能の改善・見直し 2. 継続した法人下サービスを利用したバックアップ体制	1. 白寿荘に少しでも長く滞在できるよう各々の能力に応じた適切なサービスを行い、介護サービスのニーズにおいては法人傘下のサービスをフル活用する事で補っていく。 担当者：生活相談員、支援員
	ご利用者に日常生活の「安心と安全とやすらぎ」を提供する為、施設機能の維持改善に努める。	1. 施設機能の維持改善 入所者と共に生活の場である白寿荘を維持管理できるよう、協力しながら運営を行ってきた。全入所者で構成される、さわやか会では施設機能や入所者同士での改善要望が毎月話し合われている。この意見を参考に施設運営・企画を改善している。 (職員研修によるサービスの質の向上については別途項目参照) 担当者：全職員	1. 達成	昨年同様、入所者が「安全・安心・やすらぎ」が感じられるよう入所者と施設側で協議を行いながら、施設運営をすすめていく。	入所者が「安心、安全、やすらぎ」を感じる施設を作る為には入所者の意見が直接聞ける、さわやか会の場は重要。この回が更に風通しが良い場となるよう運営を補助・支援協力を行っていく。 担当者：全職員
健康管理	毎日の居室巡回、週1階のバイタル測定、毎月の体重測定を実施し、異常時には医療機関との連携をとりつつ適切な処置を行う。	1. 体調面の把握 定期的体調管理をベースとして、日課の中から不参加時の声掛け、臨時のバイタル測定等から異常を早急にキャッチする。	1. 達成	1-1. 体調管理 1-2. 体調異変の早期把握	昨年同様、体調の異変に素早く気づけるよう日常生活の個々の習慣を把握、異変に気づける環境作りを行っていく。把握時には各種医療関係者と連携をとり早急に対応を行う。 池田市からの意向もふまえリスクを避ける

		異変時には医療機関への早急な対応等を行った。 担当者：看護師、支援員等			先手の対応を行う。 担当者：看護師、支援員等	
	健康診断	1. 通常の健康診断と併せて、入所総統審査時に簡易の検査等も実施。 担当者：事業部長、生活相談員、看護師	1. 達成	1. 定期健康診断の実施	昨年同様、定期の健康診断を実施していく 担当者：事業部長、生活相談員、看護師	
	健康・筋力の維持	入所者機能の把握 個々の現状ADLを把握する為に体力測定を実施。全体としては定時のラジオ体操を追加機能維持を図っている。 担当者：支援員	一部未達成 理由・評価 全体的な機能維持計画に消極的な方に対して、個別のニーズと機能維持をどう関連させていくかを協議中の方が居る。ご本人の意思が大切な為、タイミングを逃さず関われるよう機会を窺っている状況。	一部未達成な方への関わり方の見直し 過度な接触を嫌われる為、ご本人さんの意思を尊重しつつ将来へ向けた準備も少しずつ受け入れて行って頂けるよう工夫・改善していく。	1-1. 機能維持把握～機能維持向上（維持）までのプランを個別に実施していき再評価、見直しのできる所まで実施する。 機能評価についてもより効果的な内容が無いが常に意識し検討を行っていく。 担当者：生活相談員、支援員 1-2. 一部達成できていない方に関しても、ご本人の意思を尊重しながらも都度、将来へ向けた必要性を説明し、前向きに取り組んで頂けるようアプローチしていく。 担当者：生活相談員、支援員	
各事業所の状況共有と連携	本部管理によるグループウェアを使用し、情報共有及び効率化を図る	情報の共有化 グループウェアを使用する事により遠隔地においても素早い情報共有を行う事が出来た。 担当者：全職員	1. 達成	1 情報共有化の継続	1. グループウェアを活用した情報共有を今後も継続し、素早い情報の共有を図る。 担当者：全職員	
サービス内容の見直しと改善	転所施設に関する行政方針の変更	1-1. 昨年度までは転所施設については他市のサ高住を中心とした退所計画が基本であったが、今年改めて、特養を優先とするという見解に変更となった。 1-2. 成年後見人の申請 成年後見人の申請、特に市長申し立ての場合は計画的に実施し、行政側と連携をとっていく。 担当者：事業部長、生活相談員	達成	経済的困難者の転所先について	自寿荘滞在中に充分貯蓄できた方は法人内のサービス内で転所先も確保する事が出来るが、経済的に困難な入所者においては待機期間の長い従米型の特養（ほほえみ、ハートフル伏尾）しか選択が無い状況。待機期間の間、夜間体制の整っていない自寿荘においてフォローするには安全上の問題がある為、上記ケースにおいてどのように対応していくのか再度検討する必要有り。 又、事前に成年後見人を付けていると費用がかかりすぎて払う事が出来ないという問題点も有る。 担当者：事業部長、生活相談員、 (池田市福祉部)	

職員教育制度の改善(強化)	個々のスキルに応じた研修体制の強化 内部及び外部研修を利用した研修計画の実施	外部研修を中心として個々のスキルに応じた研修を行った。又、法人内委員会の研修も実施。 担当者：事業部長、生活相談員	達成	昨年の研修計画をベースとして研修計画をたてていく。	外部研修を中心として一部本部と共有する部分においては内部研修も活用していく(委員会研修を中心として) 担当者：事業部長、生活相談員	
---------------	---	--	----	---------------------------	--	--

令和元年度 養護老人ホーム白寿荘 資金収支計算書

(単位：円)

科目	決算金額
事業収入	65,519,149
老人福祉事業収入	65,230,650
寄付金収入	5,000
利息配当金収入	1,133
その他の収入	282,366
収入計	65,519,149

科目	決算金額
人件費支出	42,473,247
事業費支出	11,392,850
給食費支出	5,243,017
保健衛生費支出	299,918
教養娯楽費支出	342,584
日用品費支出	205,560
水道光熱費支出	4,665,406
消耗器具備品費支出	187,744
保険料支出	208,941
賃借料支出	49,280
車輛費支出	170,600
雑支出	19,800
事務費支出	10,858,394
福利厚生費支出	309,529
旅費交通費支出	4,418
研修研究費支出	28,440
事務消耗品費支出	185,568
印刷製本費支出	23,813
修繕費支出	28,700
通信運搬費支出	266,587
会議費支出	29,758
広報費支出	26,169
業務委託費支出	8,611,924
手数料支出	8,174
租税公課支出	7,700
保守料支出	1,211,968
渉外費支出	29,646
諸会費支出	86,000
その他の支出	176,210
拠点区分間繰入金支出	912,000
支出計	65,812,701

令和2年度

事業報告書
資金収支計算書

自：令和2年4月1日
至：令和3年3月31日

養護老人ホーム 白寿荘
(社会福祉法人 のぞみ)

<p>1. 当事業部のミッション</p> <ul style="list-style-type: none"> - 指定管理者として池田市の信任に応えるべく、ご利用者が安心して暮らせる地域の施設を目指す。 - 入所者の基本的人権を尊重し、入所者が自立した日常生活を営むことが出来るよう、各人の有する能力に応じた必要なサービスが提供できるよう努める。 - 介護ニーズに対応する為、介護保険サービスを積極的に利用すると共に、個々のご利用者の状況に応じて適切なサービスを提供する。 - 入所者に日常生活の「安心と安全とやすらぎ」を提供する為、施設機能の維持管理に努める。 	
<p>2. 令和2年度 事業計画実行状況の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症は、当事業部の運営にも多大な影響を及ぼした。感染防止徹底の為、生活スタイルの変化や行事の大きな方向転換を余儀なくされ、この事がこの後記載のADLの維持や経営面でも大きく影響した。 ・ADLの維持強化の為に体力測定を実施、実施数がまだ少なく分析までは活用できていないが、居室から出てくる一つの機会として、又現在の自身の体力を見つめて頂く一つの機会として活かしている。しかし、行事や個別の外出の機会は感染防止対策の為、減少。ADLの低下や居室への閉じこもりが増加中 ・経営面においては昨年からの方針を引継ぎ、コストパフォーマンスを意識し、小規模な外出の機会の増加を狙い、様々な計画を行っていた。しかしこれも感染防止対策により中止、その分、感染防止対策等へ十分な人員と経費をかけ感染対策を行ってきた。その成果もあり現時点において入所者、職員ともに感染者も発生していない。また風邪症状も今年は現状ほとんど無い状況で移行している。この状況を感染症が落ち着く状況まで何とか維持できるよう継続していく。本年度途中より介護体験実習生については受け入れを中止及び、保育所との交流においても中止となった。 ・渉外面においては池田市からの新規措置入所は0件、退所は3件と入所者数は減少している。その分池田市からの要請される緊急ショートケースは増加傾向にあり、数か月滞在のショートステイのケースが増加、また相談件数自体も増加している。 	<p>3. 令和3年度 事業計画の概要</p> <p>運営面では、新型コロナウイルスによる外出機会が減少している今こそ、個別のADLの維持強化（閉じこもりの防止）に力を入れていきたい。昨年度の反省点を受け、屋内において入所者のモチベーション向上をどのように図るのか、再度見直し、個別での関り方について改善、実施していく。また介護保険サービスを最大限に活用し、外部サービスをフル活用した機能維持を今年も意識する。</p> <p>経営面では、新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかわからない状況の中でコストパフォーマンスを意識した計画のみだけでは無く、屋内においても居室から出てきてもらう為の行事やレクリエーションの計画に視点を変更。また感染対策を最優先としていくのは継続し、必要物品の継続的な確保を行い、万が一の際にも十分な体制でウイルスに挑めるような体制構築を心がけていく。</p> <p>毎年受け入れていた介護体験実習生については新型コロナの収束が見えない状況においては計画を見送る事とする。</p> <p>渉外面では、池田市福祉部としっかりと連携・情報共有を図り、一体化した対応が行えるようにする。特にショート分野については白寿荘の状況を把握している担当部署との連携が必要になってくる為、今まで以上に慎重かつ丁寧に状況を把握し、連携していく事に注意する。</p>

令和2年度事業計画実行状況 および令和3年度事業計画の詳細

A	B 白寿荘事業部 令和2年度末目標	C 令和2年度 事業内容 およびその担当者・予算・実現期限	D 令和2年度末の目標達成状況および未達の場合の理由評価	E 白寿荘事業部 令和3年度末目標	F 令和3年度事業内容 およびその担当者・予算・実現期限	G 備考
<p>事業所の効率効果的で安定した経営・運営</p>	<p>1. 池田市との連携 指定管理者として池田市と連携を図り、利用者が安心した生活を維持できるよう自立支援に圧力を置いた生活支援を行う。</p> <p>2. 緊急ショートを受け入れは、受け入れのライン等について担当窓口と協議を行い、スムーズな受け入れが可能なよう努める。</p>	<p>1. 池田市との連携を強化し、白寿荘としての機能を最大限活かして引き続き、池田市及び地域に貢献していく。「我が事・まる事」の研修を通じ地域包括システムを構成する拠点として地域との連携強化を図っていく。 担当者：事業部長 生活相談員</p> <p>2. 緊急ショートの入力需要が今まで以上に増加、宿直体制では受け入れが難しいケースも相談される事が増えている為、自費サービス等の活用の検討も視野に入れ、白寿荘として最大限行政の要望に応える事が出来る体制づくりについて行政と相談していく 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 達成</p> <p>2. 達成 ショート受け入れ 3件 3名のべ合計178日間 長期滞在の方の増加により備品を追加購入し、可能な限り受け入れに努めている。受け入れラインについては行政との話し合いを重ね、宿直体制にて対応なラインを維持できている。</p>	<p>1. 池田市との連携 高齢・福祉総務課との連携をはじめ、「重層的支援体制整備事業」の一端が担えるように地域の拠点として研修に参加。地域の主要機関及び地域の民生委員等との関係性を強化 担当者：施設長、生活相談員</p> <p>2. 緊急ショートを受け入れ 需要が今まで以上に増加、自寿荘として最大限行政の要望に応える事が出来るように継続して行政と相談していく。 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 池田市及び地域との連携を強化し、白寿荘としての機能を最大限活かして引き続き、池田市及び地域に貢献していく。「重層的支援体制整備事業」の研修を通じ地域を構成する拠点施設として地域との連携強化を図っていく。 担当者：施設長、生活相談員</p> <p>2. 長期滞在ケースの増加 長期期間滞在する、短期入所生活の対象者が増加傾向にある。各関係部署と連携を図り短期入所生活者への支援を行う。 担当者：施設長、生活相談員、 支援員</p>	
	<p>1. 運営手法の把握 当施設は公設公営の運営委託社会福祉法人のぞみの形態ではあるが、大阪府下の他市においては民設民営、公設民営等が主流である。 池田市においても他市同様の流れになる可能性が考えられる。如何なる状況にも対応できるよう知識を深め準備を整えておく。 担当者：施設長、 生活相談員</p>	<p>1. 養護分科会への参加 養護分科会への積極的な参加を継続し、最新情報を収集すると共に、将来に向けて公設公営の形態からの変化にも対応できるよう他市の運営状況等を参考に知識を深めていく。 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 達成 養護分科会への積極的な参加 及び情報共有、公設民営施設の現状把握（運営の厳しさ・措置控え）等の把握</p>	<p>1. 運営手法の把握 当施設は公設公営の運営委託社会福祉法人のぞみの形態ではあるが、大阪府下の他市においては民設民営、公設民営等が主流である。養護老人ホームを取り巻く環境の変化をとらえ、最新の情報を取得すると共に対策検討を図る。 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 養護分科会への参加 引き続き養護分科会への積極的な参加を継続し、最新情報を収集すると共に、将来に向けて公設公営の形態からの変化にも対応できるよう他市の運営状況等を参考に知識を深めていく。 担当者：施設長、生活相談員</p>	

<p>利用者支援</p>	<p>1. 経済面の安定 昨年同様、入所者自身が収支を意識して生活して頂けるよう経済状況の把握・助言を行っていく。</p> <p>2. 身元引受人 昨年同様、毎年行われる入所継続審査等で将来的に後見人が必要となる方々を行政側と共有する。</p>	<p>1. 生活安定 入所者が養護老人ホームでの生活が安定するよう、又将来に向けた計画的な収支バランスを一緒に考えていく。 担当：生活相談員</p> <p>2. 後見人制度の活用 後見人制度の情報を都度収集すると共に、行政との連携を強化していく。又、市民後見人の育成に協力し、実習施設としての場を提供していく。 担当：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 達成 養護老人ホームにおいては身元引受人の不在や経済面の影響が将来を左右する大きな要因となる為、将来に向けて利用者の気持ちを確認しながら、必要時には助言を行い、生活改善に取り組む</p> <p>2. 達成 必要な場面で成年後見の手続きが行えるよう、本人申し立て及び市長申し立てどちらで行くか行政側と都度協議を行っている。</p>	<p>1. 経済面の安定 昨年同様、入所者自身が収支を意識して生活して頂けるよう経済状況の把握・助言を行っていく。 担当：生活相談員</p> <p>2. 身元引受人 昨年同様、毎年行われる入所継続審査等で将来的に後見人が必要となる方々を行政側と共有する。 担当：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 生活安定 入所者が養護老人ホームでの生活を安定できるよう、又将来に向けた計画的な収支バランスを一緒に考えていく。 担当：生活相談員</p> <p>2. 後見人制度の活用 必要な場面で成年後見制度の申請が行えるよう行政との連携を継続。又、市民後見人の育成に協力し、実習施設としての場を提供していく。 担当：施設長、生活相談員</p>	
	<p>1. 個別計画作成 項目の内容改善・見直し及び評価機能の改善・見直し</p> <p>2. 介護ニーズへの対応 継続した法人傘下サービスを利用したバックアップ体制</p>	<p>1. 2. 白寿荘に少しでも長く滞在できるよう各々の能力に応じた適切なサービスを行い介護サービスのニーズにおいては法人傘下のサービスをフル活用する事で補っていく。 担当者：生活相談員、支援員</p>	<p>1. 一部未達成 コロナ禍による生活面への制限等が一部体力低下につながったこともあり当初の目標が達成できていない為、一部未達成とする。</p> <p>2. 達成 介護ニーズにおいては最大限法人参加のサービスを活用。その他の部分においては支援員にて生活補助を行っている。</p>	<p>1. 個別計画作成 各々の能力や性格を把握した上でプラン変更実施。</p> <p>2. 介護ニーズへの対応 継続した法人下サービスを最大限利用したバックアップ体制</p>	<p>1. 機能維持計画 コロナ禍の影響も有り、体力低下が目立つ。体力維持を目標に各自プランの見直しを行う。 担当者：生活相談員</p> <p>2. 介護ニーズへの対応 法人下の介護事業所と連携しながら最大限白寿荘に滞在して頂けるよう支援。 担当者：生活相談員、支援員</p>	
	<p>1. 生活の場 昨年同様、入所者が「安全・安心・やすらぎ」が感じられるよう入所者と施設側で協議を行いながら、施設運営をすすめていく。</p>	<p>1. さわやか会の活用 入所者が「安心、安全、やすらぎ」を感じる施設を作る為には入所者の意見が直接聞ける、さわやか会の場は重要。この会が更に風通しが良い場となるよう運営を補助・支援協力を行っていく。 担当者：全職員</p>	<p>1. 達成 入所者自々会のさわやか会にて入所者の意見を収集、可能な限り運営に取り組みながら計画を立てている。今年度は入所者の意見で訪問販売を調整し、入所者に高評価を得ている。</p>	<p>1. 生活の場 昨年同様、入所者が「安全・安心・やすらぎ」が感じられるよう入所者と施設側で協議を行いながら、施設運営をすすめていく。 担当者：全職員</p>	<p>1. さわやか会の活用 入所者が「安心、安全、やすらぎ」を感じる施設を作る為には入所者の意見が直接聞ける、さわやか会の場は重要。この会が更に風通しが良い場となるよう運営を補助・支援協力を行っていく。 担当者：全職員</p>	
<p>健康管理</p>	<p>1-1. 体調管理</p> <p>1-2. 体調異変の早期把握</p>	<p>1. 体調面の把握 体調の異変に素早く気付けるよう日常生活の個々の習慣を把握、異変に気付ける環境作りを行っていく。把握時には各種医療関係者と連携をとり早急な対応を行う。 池田市からの意向もふまえリスクを避ける先手の対応を行う。 担当者：看護師、支援員等</p>	<p>1. 達成 コロナ禍において感染対策を強化。毎日のバイタル測定を実施。より早期な異常発見できるように変更。</p>	<p>1-1. 体調管理 毎日の居室巡回とバイタル測定、毎月の体重測定を実施し、異常時には医療機関との連携をとりつつ適切な処置を行う。</p> <p>1-2. 体調異変の早期把握 毎日の個別の行動を把握し、異なる異変を早期に把握できるように定期的な体視等への参加状況等で状態変化には注意している。</p>	<p>1. 体調面の把握 昨年以上に、早期に体調異変に気づけるよう毎日のバイタル測定を実施。また日常生活の個々の習慣を把握し、異変に気づける環境作りを行っていく。把握時には各種医療関係者と連携をとり早急な対応を行う。 感染対策においては池田市からの意向もふまえリスクを避ける先手の対応を行う。</p>	

				担当者：看護師、支援員等	担当者：看護師、支援員等
	1. 定期健康診断の実施	1. 定期健康診断の実施 定期の健康診断を実施していく 担当者：施設長、看護師 生活相談員	1. 達成 通常の健康診断と併せて、入所継続審査時にも検査等実施。 担当者：施設長、看護師	1. 定期健康診断の実施 健康診断による異常の早期発見に努める 担当者：施設長、看護師	1. 定期健康診断の実施 健康診断による異常の早期発見に努める。 通常の健康診断と併せて、入所継続審査時にも検査等実施。 担当者：施設長、看護師
	1. 一部未達成な方への関わり方の見直し 過度な接触を嫌われる為、ご本人様の意思を尊重しつつ将来へ向けた準備もすこしずつ受け入れて行っていただけるよう工夫・改善していく。 担当者：生活相談員、支援員	1-1. 機能維持把握～機能維持向上（維持）までのプランを個別に実施していき再評価、見直しできる所まで実施する。 機能評価についてもより効果的な内容が無いが常に意識し検討を行っていく。 担当者：生活相談員、支援員 1-2. 一部達成できていない方に関しても、ご本人の意思を尊重しながらも都度、将来へ向けた必要性を説明し、前向きに取り組んでいただけるようアプローチしていく。 担当者：生活相談員、支援員	一部未達成 施設内におけるADL維持のためのプログラムは計画どおり実施されているが、コロナ禍における感染対策の為、外出機会の減少により全体的な運動量の低下がみられ、総合的には体力の低下が課題となっている。	1. 健康・機能維持 全体または小グループレクリエーションや個別プランなどにより機能維持を図る。 上記のみでは不十分な部分もある為、コロナ前からなるべく体力が低下しないように生活の中での支援も最大限に活かしながら支援していく。 担当者：生活相談員、支援員	1-1. 機能維持把握～機能維持向上（維持）までのプランを個別に実施していき再評価、見直しできる所まで実施する。機能評価についてもより効果的な内容が無いが常に意識し検討を行っていく。 1-2. 全体的な運動機会の不足が補えるようレクリエーションに加えて個別で生活の中での支援による運動不足解消プログラムを実施。 担当者：生活相談員、支援員
各事業所の状況共有と連携	1. 情報共有化の継続	1. 情報の共有化 グループウェアを活用した情報共有を今後も継続し、素早い情報の共有を行う。 担当者：全職員	1. 達成	1. 情報共有化の継続 本部管理によるグループウェアを使用し、情報共有及び効率化を図る 担当者：全職員	1. 情報の共有化 グループウェアを活用し遠隔地に居ても素早い情報共有を行う事が出来た。今後も継続し、素早い情報の共有を図る。 担当者：全職員
サービス内容の見直しと改善	1. 経済的困難者の転所先について	1. 池田市の意向確認 白寿荘滞在中に十分な貯蓄できた方は法人サービス内で転所先も確保することができるが、経済的に困難な入所者においては待期間の長い従来型の特養（保ほえみ・ハートフル伏尾）しか選択が無い状況。待機期間の間、夜間体制の整っていない白寿荘においてフォローするのには安全性の問題がある為、上記ケースにおいてどのように対応していくのか再度検討する必要あり。	1. 達成 行政との調整により、待機期間が長い従来型特養は現実的に移行が難しいとの意向確認が取れ、必要時に都度の判断にはなるが早急に対応可能な施設を行政ルートで確保頂くとする形となる。	1. 経済的困難者の転所先 経済的困難者については転所先においても生活保護にかかると必要がある為、必要時に福祉部総務課を通じて相談。都度の判断にはなるが早急に対応可能な施設を行政ルートで確保頂く事となる。 担当者：施設長、生活相談員 関係部署：池田市高齢福祉総務課、生活福祉課	1-1. 池田市との連携 担当課の方針変更に伴い、転所施設については経済的な状況を踏まえ、総合的に行政側が行き先を判断するとの方針に変更となった。 1-2. 成年後見人の申請 成年後見人の申請、特に市長申し立ての場合は計画的に実施し、行政側と連携をとっていく。 担当者：施設長、生活相談員 関係部署：池田市高齢福祉総務課、池田市生活福祉課

		<p>又事前に成年後見人をつけていると費用がかかりすぎ払う事が出来ないという問題点も有る</p> <p>担当者：施設長、生活相談員 (池田山高齢・福祉総務課)</p>				
職員教育制度の改善(強化)	<p>1. 研修計画</p> <p>研修計画をベースとして研修計画をたてていく。</p>	<p>1. 内部研修の活用</p> <p>外部研修を中心として一部本部と共有する部分においては内部研修も活用(委員会研修を中心として)</p> <p>担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>達成</p> <p>コロナ禍における研修中止により一部研修が外部研修として参加できていない。法人内研修として代替して実施</p>	<p>1. 研修計画</p> <p>昨年の研修計画同様、外部研修を中心として必要な研修を実施。又、法人主催の研修については他部署同様の研修を行っていく。</p> <p>担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 内部研修の活用</p> <p>外部研修を中心として一部本部と共有する部分においては内部研修も活用(委員会研修等)</p> <p>担当者：施設長、生活相談員</p>	

令和2年度 養護老人ホーム白寿荘 資金収支計算書

(単位：円)

科目	決算金額
事業収入	66,317,320
老人福祉事業収入	66,130,480
利息配当金収入	970
その他の収入	185,870
収入計	66,317,320

科目	決算金額
人件費支出	42,643,312
事業費支出	11,059,803
給食費支出	4,563,460
保健衛生費支出	346,345
教養娯楽費支出	222,035
日用品費支出	299,667
水道光熱費支出	4,441,180
消耗器具備品費支出	772,485
保険料支出	195,920
賃借料支出	49,280
車輛費支出	169,431
事務費支出	11,449,646
福利厚生費支出	354,588
研修研究費支出	6,580
事務消耗品費支出	168,842
印刷製本費支出	31,745
修繕費支出	30,008
通信運搬費支出	278,869
会議費支出	22,770
広報費支出	43,910
業務委託費支出	8,947,514
手数料支出	7,945
租税公課支出	34,200
保守料支出	1,323,215
渉外費支出	14,950
諸会費支出	78,830
雑支出	105,680
その他の支出	266,836
拠点区分間繰入金支出	937,000
支出計	66,356,597

令和3年度

事業報告書
資金収支計算書

自：令和3年4月1日
至：令和4年3月31日

養護老人ホーム 白寿荘
(社会福祉法人 のぞみ)

令和3年度 白寿荘事業部 事業報告

2022年3月31日
白寿荘事業部長 五反田 則男

<p>1. 当事業部のミッション</p> <ul style="list-style-type: none"> - 指定管理者として池田市の信任に応えるべく、ご利用者が安心して暮らせる地域の施設を目指す。 - 入所者の基本的人権を尊重し、入所者が自立した日常生活を営むことが出来るよう、各人の有する能力に応じた必要なサービスが提供できるよう努める。 - 介護ニーズに対応する為、介護保険サービスを積極的に利用すると共に、個々のご利用者の状況に応じて適切なサービスを提供する。 - 入所者に日常生活の「安心と安全とやすらぎ」を提供する為、施設機能の維持管理に努める。 	
<p>2. 令和3年度 事業計画実行状況の概要</p> <p>運営面では、新型コロナウイルスによる外出機会が減少している今こそ、個別のADLの維持強化（閉じこもりの防止）に最善を図りました。前年度の反省点を受け、屋内において入所者のモチベーション向上をどのように図るのか職員で検討を重ね、入所者と個別に面談して要望等の聞き取り等を行い実施したところ、施設内での日課であるラジオ体操やレクについて以前より積極的に参加されていた。</p> <p>また介護保険サービスを最大限に活用し、外部サービスをフル活用した機能維持を図ることについては、個人差はあるもののADL維持に一定の効果がありました。</p> <p>新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのかわからない状況下、屋内においても居室から出てきてもらう為の行事やレクリエーションを計画した。</p> <p>また感染対策を最優先としていくことを重視し、対策に必要な物品を継続的に調達して、万が一の際に備えるとともに、毎日始業後の施設内消毒を徹底したところ、入所者への感染者は発生していない。</p> <p>毎年受け入れていた介護体験実習生については新型コロナの収束が見えない状況で実施していない。</p> <p>渉外面では、池田市福祉部としっかりと連携・情報共有を図り、一体化した対応が行えた。</p> <p>特に緊急入所（ショート）については、白寿荘の状況を把握している池田市担当部署と連携し対応できた。</p>	<p>3. 令和4年度 事業計画の概要</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し、今後も繰り返し流行する可能性が高いと予想されることから、引き続き感染防止対策と安心、安全対策を徹底した施設運営に努める。</p> <p>高齢者一人ひとりの個性を重視し、きめ細やかな生活支援を行う。具体的には笑顔で尊敬の心で接する。積極的なスキンシップを図る。自主を促す（生活意欲の維持・向上につなげる）</p> <p>地域住民との多様な交流推進では地域の町会、民生委員、ボランティア団体のご協力を頂き、合同避難訓練の開催、行事への参画、又は地域の拠点施設として地域福祉の一端を担うべく地域の団体との交流を引き続き進めていく。</p>

令和3年度事業計画実行状況 および令和4年度事業計画の詳細

A.	B. 白寿荘事業部 令和3年度末目標	C. 令和3年度 事業内容 およびその担当者・予算・実現期限	D. 令和3年度末の目標達成状況および未達の場合 の理由評価	E. 白寿荘事業部 令和4年度末目標	F. 令和4年度事業内容 およびその担当者・予算・実現期限	G. 備考
<p>事業所の効率 効果的であ りていた経 営・運営</p>	<p>1. 池田市との連携 高齢・福祉総務課との連携をはじめ、「重層的支援体制整備事業」の一端が担えるように地域の拠点として研修に参加。 地域の主要機関及び地域の民生委員等との関係性を強化 担当者：施設長、生活相談員</p> <p>2. 緊急ショートの受け入れ需要が今まで以上に増加。白寿荘として最大限行政の要望に応える事が出来るように継続して行政と相談していく。 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 池田市及び地域との連携を強化し白寿荘としての機能を最大限活かして引き続き、池田市及び地域に貢献する。「重層的支援体制整備事業」の研修を通じ地域を構成する拠点施設として地域との連携強化を図る。 担当者：施設長、生活相談員</p> <p>2. 長期滞在ケースの増加 長期期間滞りする、短期入所生活の対象者が増加傾向にある。各関係部署と連携を図り短期入所生活者への支援を行う。 担当者：施設長、生活相談員、支援員</p>	<p>1. 一部未達 コロナ禍において今まで行っていた、交流行事、および地域の合同訓練等が全て中止となり、顔を合わす機会が無かった。池田市とは細かい情報も共有を行い引き続き連携強化を行う事は出来た。</p> <p>2. 達成 今年度は件数が少なかったが池田市からの要望に応え適切な対応が行えた。 4件 4名 のべ合計52日間</p>	<p>1. 池田市及び地域との連携強化 高齢・福祉総務課との連携をはじめ、「重層的支援体制整備事業」の一端が担えるように地域の拠点として研修に参加。 地域の主要機関及び地域の民生委員等との関係性を強化 担当者：施設長、生活相談員</p> <p>2. 緊急ショートの受け入れ 白寿荘として最大限行政の要望に応える事が出来るように継続して行政と連携していく。</p>	<p>1. 地域の拠点施設として一旦を担えるよう地域の主要機関として再度民生委員や地域関係機関と交流を図っていく。コロナ禍において可能な相互交流について模索していく。</p> <p>2. 長期滞在ケースの増加 長期期間滞りする、短期入所生活の対象者が増加傾向にある。各関係部署と連携を図り短期入所生活者への支援を行う。</p>	
	<p>1. 運営手法の把握 当施設は公設公営の運営委託社会福祉法人のぞみの形態ではあるが、大阪府下の他市においては民設民営、公設民営等が主流である。養護老人ホームを取り巻く環境の変化をとらえ、最新の情報を取得すると共に対策検討を図る。 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 養護分科会への参加 引き続き養護分科会への積極的な参加を継続し、最新情報を収集すると共に、将来に向けて公設公営の形態からの変化にも対応できるよう他市の運営状況等を参考に知識を深めていく。 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 一部達成 コロナ禍において頻度は減少したが定例の分科会に参加し措置控えによる定員割れの問題等、養護施設独自について共有。</p>	<p>1. 運営手法の把握 当施設は公設公営の運営委託社会福祉法人のぞみの形態ではあるが、大阪府下の他市においては民設民営、公設民営等が主流である。池田市の方針等を踏まえた、養護老人ホームを取り巻く環境の変化をとらえ、最新の情報を取得すると共に対策検討を図る。</p>	<p>1. 養護分科会への参加 引き続き養護分科会への積極的な参加を継続し、最新情報を収集すると共に、将来に向けて公設公営の形態からの変化にも対応できるよう他市の運営状況等を参考に知識を深めていく。 2. 池田市行政の体制変更に係る方針についても注意を引き続き払う。</p>	
<p>利用者支援</p>	<p>1. 経済面の安定 昨年同様、入所者自身が収支を意識して生活して頂けるよう経済状況の把握・助言を行っていく。 担当：生活相談員</p> <p>2. 身元引受人 昨年同様、毎年行われる入所継続審査等で将来的に後見人が必要となる方々を行政側と共有する。 担当：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 生活安定 入所者が養護老人ホームでの生活を安定できるよう、又将来に向けた計画的な収支バランスを一緒に考えていく。 担当：生活相談員</p> <p>2. 後見人制度の活用 必要な場面で成年後見制度の申請が行えるよう行政との連携を継続。又、市民後見人の育成に協力し、実習施設</p>	<p>1. 達成（継続）</p> <p>2. 達成（継続）</p>	<p>1. 経済面の安定 昨年同様、入所者自身が収支を意識して生活して頂けるよう経済状況の把握・助言を行っていく。 担当：生活相談員</p> <p>2. 身元引受人 昨年同様、毎年行われる入所継続審査等で将来的に後見人が必要となる方々を行政側と共有する。 担当：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 生活安定 入所者が養護老人ホームでの生活を安定できるよう、又将来に向けた計画的な収支バランスを一緒に考えていく。 担当：生活相談員</p> <p>2. 後見人制度の活用 必要な場面で成年後見制度の申請を補助する</p>	

		<p>としての場を提供していく。 担当者：施設長、生活相談員</p>			
	<p>1. 個別計画作成 各々の能力や性格を把握した上でのプラン変更実施。</p> <p>2. 介護ニーズへの対応 継続した法人下サービスを最大限利用したバックアップ体制</p>	<p>1. 機能維持計画 コロナ禍の影響もあり、体力低下が目立つ。体力維持を目標に各自プランの見直しを行う。 担当者：生活相談員</p> <p>2. 介護ニーズへの対応 法人下の介護事業所と連携しながら最大限白寿荘に滞在して頂けるよう支援。 担当者：生活相談員、支援員</p>	1. 達成（継続）	<p>1. 個別計画作成 各々の能力や性格を把握した上でのプラン変更実施。</p> <p>2. 介護ニーズへの対応 継続した法人下サービスを最大限利用したバックアップ体制</p>	<p>1. 機能維持計画 コロナ禍の影響もあり、体力低下が目立つ。体力維持を目標に各自プランの見直しを行う。 担当者：生活相談員</p> <p>2. 介護ニーズへの対応 法人下の介護事業所と連携しながら最大限白寿荘に滞在して頂けるよう支援。</p>
	<p>1. 生活の場 昨年同様、入所者が「安全・安心・やすらぎ」が感じられるよう入所者と施設側で協議を行いながら、施設運営をすすめていく。 担当者：全職員</p>	<p>1. さわやか会の活用 入所者が「安心、安全、やすらぎ」を感じる施設を作る為には入所者の意見が直接聞ける、さわやか会の場は重要。この会が更に風通しが良い場となるよう運営を補助・支援協力を行っていく。 担当者：全職員</p>	1. 達成（継続）	<p>1. 生活の場 昨年同様、入所者が「安全・安心・やすらぎ」が感じられるよう入所者と施設側で協議を行いながら、施設運営をすすめていく。 担当者：全職員</p>	<p>1. さわやか会の活用 入所者が「安心、安全、やすらぎ」を感じる施設を作る為には入所者の意見が直接聞ける、さわやか会の場は重要。この会が更に風通しが良い場となるよう運営を補助・支援協力を行っていく。 担当者：全職員</p>
健康管理	<p>1-1. 体調管理 毎日の居室巡回とバイタル測定、毎月の体重測定を実施し、異常時には医療機関との連携をとりつつ適切な処置を行う。</p> <p>1-2. 体調異常の早期把握 毎日の個別の行動を把握し、異なる異常を早期に把握できるように定期的な体操等への参加状況等で状態変化には注意している。 担当者：看護師、支援員等</p>	<p>1. 体調面の把握 昨年以上に、早期に体調異常に気づけるよう毎日のバイタル測定を実施。また日常生活の個々の習慣を把握し、異常に気づける環境作りを行っていく。把握時には各種医療関係者と連携をとり早急な対応を行う。感染対策においては池田市からの意向もふまえリスクを減らせる先手の対応を行う。 担当者：看護師、支援員等</p>	<p>1-1. 達成（継続） コロナ禍においてより体調面の把握を重視し1日2回のバイタル測定を実施</p> <p>1-2. 達成（継続） 体調不良時の隔離を含めた早期対応を実施し現段階において施設内新型コロナ感染数0名を継続維持</p>	<p>1-1. 体調管理 毎日の居室巡回とバイタル測定、毎月の体重測定を実施し、異常時には医療機関との連携をとりつつ適切な処置を行う。</p> <p>1-2. 体調異常の早期把握 毎日の個別の行動を把握し、異なる異常を早期に把握できるように定期的な体操等への参加状況等で状態変化には注意している。</p>	<p>1. 体調面の把握 昨年同様に、早期に体調異常に気づけるよう毎日のバイタル測定を実施。また日常生活の個々の習慣を把握し、異常に気づける環境作りを行っていく。把握時には各種医療関係者と連携をとり早急な対応を行う。 感染対策においては池田市からの意向もふまえリスクを減らせる先手の対応を行う。</p>
	<p>1. 定期健康診断の実施 健康診断による異常の早期発見に努める 担当者：施設長、看護師</p>	<p>1. 定期健康診断の実施 健康診断による異常の早期発見に努める。 通常の健康診断と併せて、入所継続審査時にも検査等実施。 担当者：施設長、看護師</p>	1. 達成（継続）	<p>1. 定期健康診断の実施 健康診断による異常の早期発見に努める</p>	<p>1. 定期健康診断の実施 健康診断による異常の早期発見に努める。 通常の健康診断と併せて、入所継続審査時にも検査等実施。</p>

	<p>1. 健康・機能維持 全体または小グループレクリエーションや個別プランなどにより機能維持を図る。 上記のみでは不十分な部分もある為、コロナ前からなるべく体力が低下しないように生活の中での支援も最大限に活かしながらか支援していく。</p> <p>担当者：生活相談員、支援員</p>	<p>1-1. 機能維持把握～機能維持向上（維持）までのプランを個別に実施していき再評価、見直しできる所まで実施する。機能評価についてもより効果的な内容が無いかな常に意識し検討を行っていく。</p> <p>1-2. 全体的な運動機会の不足が補えるようレクリエーションに加えて個別で生活の中での支援による運動不足解消プログラムを実施。 担当者：生活相談員、支援員</p>	<p>1. 一部未達 施設外に出る頻度がどの入所者も低下し運動量の低下から機能低下又は意欲の低下が著しく見られる。施設内行事の充実を図り様々な取り組みを行ってきた為、低下緩和が出来たとは思いが以前の能力を維持するという目標は難しく未達。ただコロナ禍において一定の効果は得られた為基本路線は継続。 ※一人で外出出来る事が入所者の機能維持のモチベーションとして大きかった事を実感</p>	<p>1. 健康・機能維持 全体または小グループレクリエーションや個別プランを見直し機能維持を図る。 外出頻度の低下から意欲低下に繋がらないよう、生活の中での支援も最大限に活かしながらか体力（機能）維持を図る。</p>	<p>1-1. 機能維持把握～機能維持向上（維持）までのプランを個別に実施していき再評価、見直しできる所まで実施する。機能評価についてもより効果的な内容が無いかな常に意識し検討を行っていく。</p> <p>1-2. 全体的な運動機会の不足が補えるようレクリエーションに加えて個別で生活の中での支援による運動不足解消プログラムを実施。</p>	
<p>各事業所の状況共有と連携</p>	<p>1. 情報共有化の継続 本部管理によるグループウェアを使用し、情報共有及び効率化を図る 担当者：全職員</p>	<p>1. 情報の共有化 グループウェアを活用し遠隔地に居ても素早い情報共有を行う事が出来た。今後も継続し、素早い情報の共有を図る。 担当者：全職員</p>	<p>1. 達成（継続）</p>	<p>1. 情報共有化の継続 本部管理によるグループウェアを使用し、情報共有及び効率化を図る</p>	<p>1. 情報の共有化 グループウェアを活用し遠隔地に居ても素早い情報共有を行う事が出来た。今後も継続し、素早い情報の共有を図る。</p>	
<p>サービス内容の見直しと改善</p>	<p>1. 経済的困難者の転所先 経済的困難者については転所においても生活保護にかかる必要が有る為、必要時に福祉部総務課を通じて相談。都度の判断にはなるが早急に対応可能な施設を行政ルートで確保頂く事となる。 担当者：施設長、生活相談員 関係部署： 池田市高齢福祉総務課、生活福祉課</p>	<p>1-1. 池田市との連携 担当課の方針変更に伴い、転所施設については経済的な状況を踏まえ、総合的に行政側が行き先を判断するとの方針に変更となった。 1-2. 成年後見人の申請 成年後見人の申請、特に市長申し立ての場合は計画的に実施し、行政側と連携をとっていく。 担当者：施設長、生活相談員 関係部署： 池田市高齢福祉総務課 池田市 生活福祉課</p>		<p>1. 経済的困難者の転所先 経済的困難者については転所においても生活保護にかかる必要が有る為、必要時に福祉部総務課を通じて相談。都度の判断にはなるが早急に対応可能な施設を行政ルートで確保頂く事となる</p>	<p>1-1. 池田市との連携 担当課の方針変更に伴い、転所施設については経済的な状況を踏まえ、総合的に行政側が行き先を判断するとの方針に変更となった。 1-2. 成年後見人の申請 成年後見人の申請、特に市長申し立ての場合は計画的に実施し、行政側と連携をとっていく。</p>	
<p>職員教育制度の改善（強化）</p>	<p>1. 研修計画 昨年の研修計画同様、外部研修を中心として必要な研修を実施。 又、法人主催の研修については他部署同様の研修を行っていく。 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 内部研修の活用 外部研修を中心として一部本部と共有する部分においては内部研修も活用（委員会研修等） 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 達成 コロナ禍でweb研修が多かったが、今年度も必要な研修について受講する事が出来た。</p>	<p>1. 研修計画 昨年の研修計画同様、外部研修を中心として必要な研修を実施。 又、法人主催の研修については他部署同様の研修を行っていく。</p>	<p>1. 内部研修の活用 外部研修を中心として一部本部と共有する部分においては内部研修も活用（委員会研修等）</p>	

令和3年度 養護老人ホーム白寿荘 資金収支計算書

(単位：円)

科目	決算金額
事業収入	65,579,072
老人福祉事業収入	65,322,370
利息配当金収入	262
その他の収入	256,440
収入計	65,579,072

科目	決算金額
人件費支出	41,128,698
事業費支出	11,050,148
給食費支出	3,541,266
保健衛生費支出	193,605
教養娯楽費支出	149,802
日用品費支出	72,867
水道光熱費支出	4,296,870
消耗器具備品費支出	2,383,153
保険料支出	192,290
賃借料支出	49,280
車輛費支出	171,015
事務費支出	12,030,876
福利厚生費支出	195,782
旅費交通費支出	920
研修研究費支出	37,198
事務消耗品費支出	367,871
印刷製本費支出	21,897
修繕費支出	173,206
通信運搬費支出	267,442
会議費支出	23,871
業務委託費支出	9,156,020
手数料支出	13,475
租税公課支出	6,600
保守料支出	1,556,044
渉外費支出	25,520
諸会費支出	83,000
雑支出	102,030
その他の支出	216,384
拠点区分間繰入金支出	1,160,000
支出計	65,586,106

令和4年度

事業報告書
資金収支計算書

自：令和4年4月1日
至：令和5年3月31日

養護老人ホーム 白寿荘
(社会福祉法人 のぞみ)

令和4年度 白寿荘事業部 事業報告

2022年3月31日

白寿荘事業部長 五反田 則男

1. 当事業部のミッション <ul style="list-style-type: none"> - 指定管理者として池田市の信任に応えるべく、ご利用者が安心して暮らせる地域の施設を目指す。 - 入所者の基本的人権を尊重し、入所者が自立した日常生活を営むことが出来るよう、各人の有する能力に応じた必要なサービスが提供できるよう努める。 - 介護ニーズに対応する為、介護保険サービスを積極的に利用すると共に、個々のご利用者の状況に応じて適切なサービスを提供する。 - 入所者に日常生活の「安心と安全とやすらぎ」を提供する為、施設機能の維持管理に努める。 	
2. 令和4年度 事業計画実行状況の概要 <p>新型コロナウイルスの感染拡大が長期化していること。今後も繰り返し流行する可能性が有り、万全の感染防止対策と安心安全な施設運営に努めた。</p> <p>入所者一人ひとりの個性を重視し、きめ細やかな生活支援を行った。具体的には笑顔で尊敬の心で接し、積極的にスキンシップを図って生活意欲の維持・向上に繋げた。</p> <p>なお、白寿荘閉鎖の経緯とその関連業務については、以下のとおりです。</p> <p>令和4年6月池田市議会において、当施設に係る条例「池田市立養護老人ホーム条例」の廃止が議決され、令和4年度末をもって施設を閉鎖するとの連絡が当法人にあった。7月には池田市福祉部から施設閉鎖に係る説明会の開催、その後白寿荘入所者への説明会も開催された。</p> <p>9月から当施設と市担当課により、全入所者の転居先に係る個別面談による聞き取り調査を実施、10月には転居先候補の施設見学を行い入所者の同意のもと転居日程が確定した。</p> <p>10月に1名転居（古江台ホールケアハウス）</p> <p>12月に3名転居（箕面ゆずの郷2名、慇懃老人ホーム万寿荘1名）</p> <p>令和5年1月に2名転居（箕面ゆずの郷）</p> <p>2月に3名転居（箕面ゆずの郷）</p>	3. 令和5年度 事業計画の概要

令和4年度事業計画実行状況 および令和4年度事業計画の詳細

A.	B. 白寿荘事業部 令和4年度末目標	C. 令和4年度 事業内容 およびその担当者・予算・実現期限	D. 令和3年度末の目標達成状況および未達の場合 の理由評価	E. 白寿荘事業部 令和5年度末目標	F. 令和5年度事業内容 およびその担当者・予算・実現期限	G. 備考
	<p>1. 池田市及び地域との連携強化 高齢・福祉総務課との連携をはじめ、「重層的支援体制整備事業」の一端が担えるように地域と拠点として研修に参加。地域の主要機関及び地域の民生委員等との関係性を強化 担当者：施設長、生活相談員</p> <p>2. 緊急ショートを受け入れ 白寿荘として最大限行政の要望に応える事が出来るように継続して行政と連携していく。</p>	<p>3. 地域の拠点施設として一旦を担えるよう地域の主要機関として再度民生委員や地域関係機関と交流を図っていく。コロナ禍において可能な相互交流について模索していく。 担当者：施設長、生活相談員</p> <p>2. 長期滞在ケースの増加 長期間滞在する、短期入所生活の対象者が増加傾向。各関係部署と連携し、短期入所生活者への支援を行う。 担当者：施設長、生活相談員</p> <p>3. 施設閉鎖における転所支援 入所者転居先を決める為の支援を行政と共に実施。個別面談、施設検討、(行政)、施設見学同行、新施設への引継ぎ及び各種調整、新施設への引越し支援を行い、入所者が支障なく転所出来るよう最大限の支援を行う。 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 一部未達 コロナ禍において可能な相互交流を検討したが昨年同様、交流行事、および地域の合同訓練等が全て中止となり、顔を合わす機会が無かった。池田市とは細かい情報も共有を行い引き続き連携強化を行う事は出来た。</p> <p>2. 達成 今年度は長期ショートを数か月のみではあるが入所に切り替え対応。その為、ショートステイ入所となったケースにおいては無かった。その他池田市からの要望、打診については適切な対応が行えた。</p> <p>4. 達成 (現在進行中) 現在、既に5名の退所支援を実施。ご家族の支援が受けられない方がほとんどの状況で、入所者が次の施設で生活する上で支障が無いよう最大限の支援を実施。残り5名においても同様に安心して次の施設に移動出来るよう最大限の支援を実施する。</p>			
	<p>1. 運営手法の把握 当施設は公設公営の運営委員(社会福祉法人)のぞみの形態ではあるが、大阪府下の他市においては民営、公設民営等が主流である。池田市の方針等を踏まえた、養護老人ホームを取り巻く環境の変化をとらえ、最新の情報を取得すると共に対策検討を図る。 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 養護分科会への参加 引き続き養護分科会への積極的な参加を継続し、最新情報を収集すると共に、他市の運営状況等を参考に知識を深めていく。</p> <p>2. 池田市行政の体制変更に係る方針についても注意を引き続き私う。 担当者：施設長、生活相談員</p> <p>3. 施設閉鎖の決定 6月に施設閉鎖が議決により決定。施設閉鎖に向けた動きを行政担当課が行う為、入所者に支障が無いよう最大限の支援を行う。</p>	<p>1. 一部達成 コロナ禍において頻度は減少したが定例の分科会に参加し措置控えによる定員割れの問題等、養護施設独自について共有。</p> <p>2. 達成 施設閉鎖に向けた情報共有</p> <p>3. 達成 (継続中) 施設閉鎖決定後、行政が行う、入所者転所に向けた動きをサポート。入所者が不安を抱かれないよう身近な存在として常に相談を行い、入所者、行政担当課共に支援する。</p>			

<p>利用者支援</p>	<p>1. 経済面の安定 昨年同様、入所者自身が収支を意識して生活して頂けるよう経済状況の把握・助言を行っていく。 担当：生活相談員</p> <p>2. 身元引受人 昨年同様、毎年行われる入所継続審査等で将来的に後見人が必要となる方々を行政側と共有する。 担当：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 生活安定 入所者が養護老人ホームでの生活を安定できるよう、又将来に向けた計画的な収支バランスを一緒に考えていく。 担当：生活相談員</p> <p>2. 後見人制度の活用 必要な場面で成年後見制度の申請を補助する</p>	<p>1. 達成（継続）</p> <p>2. 達成（継続）</p>			
	<p>1. 個別計画作成 各々の能力や性格を把握した上でのプラン変更実施。</p> <p>2. 介護ニーズへの対応 継続した法人下サービスを最大限利用したバックアップ体制</p>	<p>1. 機能維持計画 コロナ禍の影響もあり、体力低下が目立つ。体力維持を目標に各自プランの見直しを行う。 担当者：生活相談員</p> <p>2. 介護ニーズへの対応 法人下の介護事業所と連携しながら最大限白寿荘に滞在して頂けるよう支援。 担当者：生活相談員、支援員</p>	<p>1. 達成（継続）</p>			
	<p>1. 生活の場 昨年同様、入所者が「安心・安心・やすらぎ」が感じられるよう入所者と施設側で協議を行いながら、施設運営をすすめていく。 担当者：全職員</p>	<p>1. さわやか会の活用 入所者が「安心、安全、やすらぎ」を感じる施設を作る為には入所者の意見が直接聞ける、さわやか会の場は重要。この会が更に風通しが良い場となるよう運営を補助・支援協力を行っていく。 担当者：全職員</p>	<p>1. 達成（継続）</p>			
<p>健康管理</p>	<p>1-1. 体調管理 毎日の居室巡回とバイタル測定、毎月の体重測定を実施し、異常時には医療機関との連携をとりつつ適切な処置を行う。</p> <p>1-2. 体調異変の早期把握 毎日の個別の行動を把握し、異なる異変を早期に把握できるように定期的体操等への参加状況等で状態変化には注意している。 担当者：看護師、支援員等</p>	<p>1. 体調面の把握 昨年同様に、早期に体調異変に気づけるよう毎日のバイタル測定を実施。また日常生活の個々の習慣を把握し、異変に気づける環境作りを行っていく。把握時には各種医療関係者と連携をとり早急な対応を行う。 感染対策においては池田市からの意向もふまえリスクを避ける先手の対応を行う。 担当者：看護師、支援員等</p>	<p>1-1. 達成（継続） コロナ禍においてより体調面の把握を重視 1日2回のバイタル測定を実施</p> <p>1-2. 達成（継続） 体調不良時の隔離を含めた早期対応を実施 現段階において施設内新型コロナ感染数0名を継続維持</p>			

	<p>1. 定期健康診断の実施 健康診断による異常の早期発見に努める 担当者：施設長、看護師</p>	<p>1. 定期健康診断の実施 健康診断による異常の早期発見に努める。 通常の健康診断と併せて、入所継続審査時にも検査等実施。 担当者：施設長、看護師</p>	<p>1. 達成（継続）</p>			
	<p>1. 健康・機能維持 全体または小グループレクリエーションや個別プランを見直し機能維持を図る。 外出頻度の低下から意欲低下に繋がらないよう、生活の中での支援も最大限に活かしながら体力（機能）維持を図る。 担当者：生活相談員、支援員</p>	<p>1-1. 機能維持把握～機能維持向上（維持）までのプランを個別に実施していき再評価、見直しできる所まで実施する。機能評価についてもより効果的な内容が無いか常に意識し検討を行っていく。 1-2. 全体的な運動機会の不足が補えるようレクリエーションに加えて個別で生活の中での支援による運動不足解消プログラムを実施。 担当者：生活相談員、支援員</p>	<p>1. 一部未達 施設外に出る頻度がどの入所者も低下し運動量の低下から機能低下又は意欲の低下が著しく見られる。施設内行事の充実を図り様々な取り組みを行ってきた為、低下緩和が出来たとは思いますが以前の能力を維持という目標は難しく未達。ただコロナ禍において一定の効果は得られた為基本路線は継続。</p>			
<p>各事業所の状況共有と連携</p>	<p>1. 情報共有化の継続 本部管理によるグループウェアを使用し、情報共有及び効率化を図る 担当者：全職員</p>	<p>1. 情報の共有化 グループウェアを活用し遠隔地に居ても素早い情報共有を行う事が出来た。今後も継続し、素早い情報の共有を図る。 担当者：全職員</p>	<p>1. 達成（継続）</p>			
<p>サービス内容の見直しと改善</p>	<p>1. 経済的困難者の転所先 経済的困難者については転所においても生活保護にかかる必要が有る為、必要時に福祉部総務課を通じて相談。都度の判断にはなるが早急に対応可能な施設を行政ルートで確保頂く事となる。 担当者：施設長、生活相談員 関係部署： 池田市高齢福祉総務課、 生活福祉課</p>	<p>1-1. 池田市との連携 担当課の方針変更に伴い、転所施設については経済的な状況を踏まえ、総合的に行政側が行き先を判断するとの方針に変更となった。 1-2. 成年後見人の申請 成年後見人の申請、特に市長申し立ての場合は計画的に実施し、行政側と連携をとっていく。 担当者：施設長、生活相談員 関係部署： 池田市高齢福祉総務課 池田市 生活福祉課</p>				

<p>職員教育制度の改善(強化)</p>	<p>1. 研修計画 昨年の研修計画同様、外部研修を中心として必要な研修を実施。 又、法人主催の研修については他部署同様の研修を行っている。 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 内部研修の活用 外部研修を中心として一部本部と共有する部分においては内部研修も活用(委員会研修等) 担当者：施設長、生活相談員</p>	<p>1. 達成 コロナ禍でweb研修が多かったが、今年度も必要な研修について受講する事が出来た。</p>			
----------------------	---	---	--	--	--	--

令和4年度 養護老人ホーム白寿荘 資金収支計算書

(単位：円)

科目	決算金額
事業収入	65,477,623
老人福祉事業収入	65,237,000
利息配当金収入	251
その他の収入	240,372
収入計	65,477,623

科目	決算金額
人件費支出	41,864,804
事業費支出	11,989,722
給食費支出	2,831,375
保健衛生費支出	72,646
教養娯楽費支出	250,253
日用品費支出	174,168
水道光熱費支出	4,570,698
消耗器具備品費支出	1,879,383
保険料支出	169,320
賃借料支出	1,737,783
車輛費支出	304,096
事務費支出	12,131,619
福利厚生費支出	343,956
旅費交通費支出	0
研修研究費支出	9,700
事務消耗品費支出	60,603
印刷製本費支出	21,770
修繕費支出	966,600
通信運搬費支出	260,717
会議費支出	20,625
広報費支出	10,490
業務委託費支出	8,739,948
手数料支出	30,744
租税公課支出	38,000
保守料支出	1,363,566
渉外費支出	25,500
諸会費支出	81,100
雑支出	158,300
その他の支出	212,876
拠点区分間繰入金支出	800,000
支出計	66,999,021

令和元年 在籍人数表

池田市立養護老人ホーム 白寿荘
(令和2年 4月 1日現在)

月	初			末			備 考
	男	女	計	男	女	計	
4月	6	9	15	6	9	15	
5月	6	9	15	6	9	15	
6月	6	9	15	6	9	15	
7月	6	9	15	6	8	14	永田氏：7/26巽病院よりショート先へ移動の為措置廃止、そのまま退所となる
8月	6	8	14	6	8	14	
9月	6	8	14	6	8	14	
10月	6	8	14	6	8	14	
11月	6	8	14	6	8	14	
12月	6	8	14	6	7	13	石井氏：12/6ADL低下に伴い、次の施設へ移動、措置廃止となる。
1月	6	7	13	6	7	13	
2月	6	7	13	6	7	13	
3月	6	7	13	6	7	13	
年度末計				6	7	13	

2
令和3年 在籍人数表

池田市立養護老人ホーム 白寿荘
(令和3年 4月 1日現在)

月	初			末			備 考
	男	女	計	男	女	計	
4月	6	7	13	6	7	13	
5月	6	7	13	6	7	13	
6月	6	7	13	6	7	13	
7月	6	7	13	6	7	13	
8月	6	7	13	6	6	12	申須眞子氏 8/18永寿園豊中へ転所
9月	6	6	12	6	6	12	
10月	6	6	12	5	6	11	藤近親喜 10/24総合ケアホーム 寝屋川池田へ転所 (措置廃止)
11月	5	6	11	5	6	11	
12月	5	6	11	5	5	10	志水アイ子 12/15 クランコート生野へ転所 (措置廃止)
1月	5	5	10	5	5	10	
2月	5	5	10	5	5	10	
3月	5	5	10	5	5	10	
年度末計				5	5	10	

令和³年度 在籍人数表

池田市立養護老人ホーム 白寿荘
(令和4年 4月 1日現在)

月	初			末			備 考
	男	女	計	男	女	計	
4月	5	5	10	5	5	10	
5月	5	5	10	5	5	10	
6月	5	5	10	5	5	10	
7月	5	5	10	4	5	9	7/7原田茂氏大阪済生会吹田病院にてご逝去
8月	4	5	9	4	5	9	
9月	4	5	9	4	5	9	
10月	4	5	9	4	5	9	
11月	4	5	9	4	5	9	
12月	4	5	9	4	5	9	
1月	4	5	9	4	5	9	
2月	4	5	9	4	5	9	
3月	4	5	9	4	5	9	
年度末計				4	5	9	

令和4年度 在籍人数表

池田市立養護老人ホーム 白寿荘
(令和5年 3月 1日現在)

月	初			末			備 考
	男	女	計	男	女	計	
4月	4	5	9	4	5	9	
5月	4	5	9	4	5	9	
6月	4	5	9	4	5	9	
7月	4	5	9	4	5	9	
8月	4	5	9	4	6	10	8/23 池端記久子 措置開始
9月	4	6	10	4	5	9	9/9 坂根志げ氏 措置廃止
10月	4	5	9	4	4	8	10/21 渡瀬芳子氏 措置廃止
11月	4	4	8	4	4	8	
12月	4	4	8	2	3	5	12/8 上松一夫氏 措置変更 12/13 池端記久子氏 措置変更 12/15 吉永好彦氏 措置変更
1月	2	3	5	1	2	3	1/19 前田勝毅氏 措置変更 1/26 畝田谷昌子氏 措置変更
2月	1	2	3	0	0	0	2/13 前田正豊氏 措置変更 2/13 田中瑞枝氏 措置変更 2/16 前田節子氏 措置変更
3月	0	0	0	0	0	0	
年度末計				0	0	0	